

今後の方向性(トピックス)紹介

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議全体会

日時:令和5年7月11日(火) 14時00分～
場所:伊丹市役所 1階 101会議室

都市交通部交通政策室交通政策課

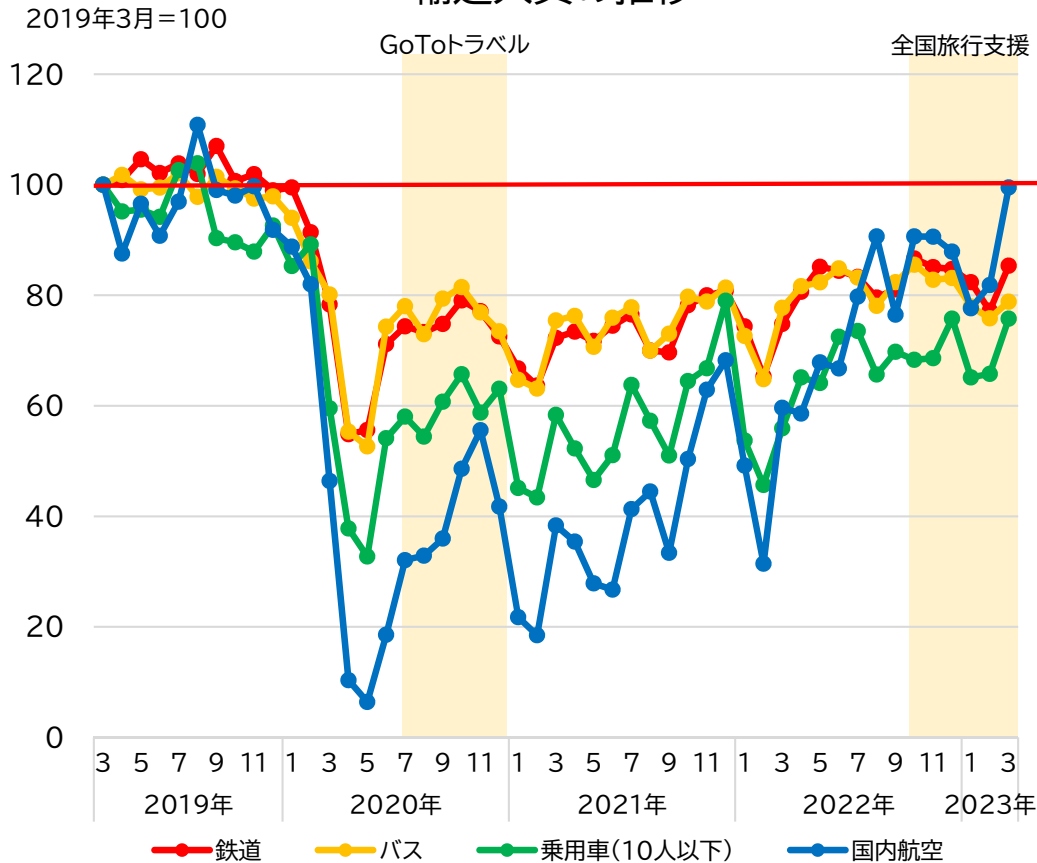
令和5年度第1回伊丹市総合交通会議

(1) 新型コロナウイルス感染症による人流等の影響について

1) 全国の状況

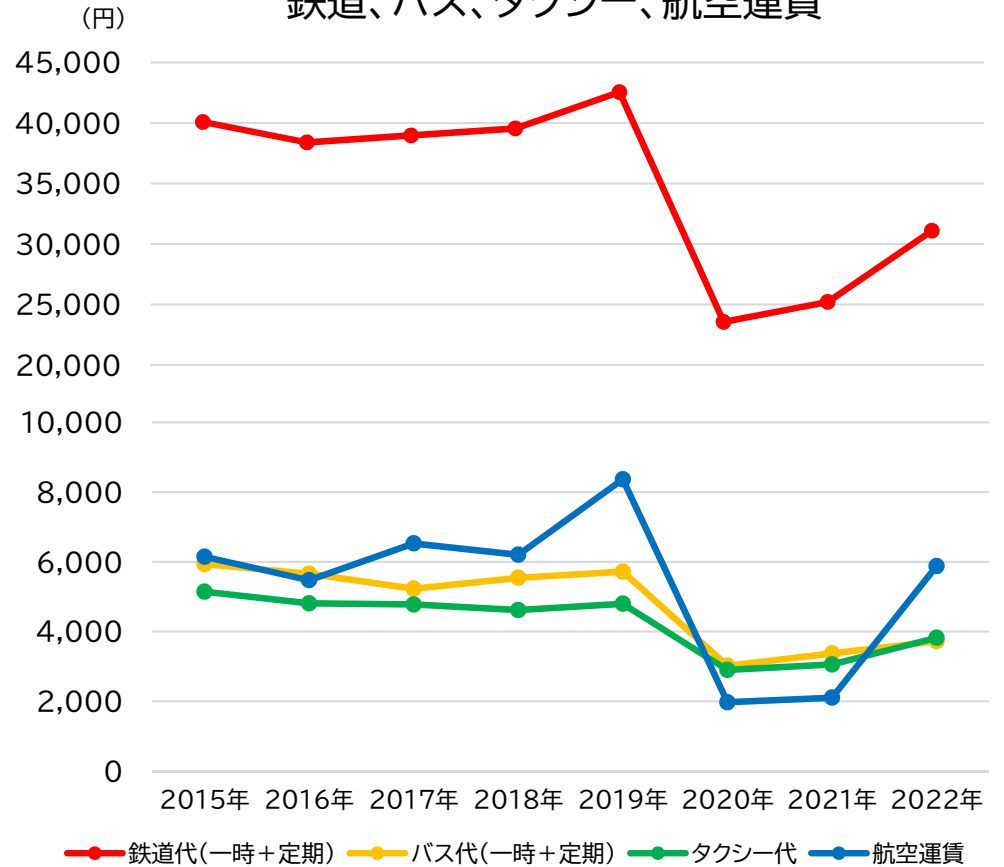
◆ 国土交通月例経済(交通分野)※1

輸送人員の推移



◆ 家計調査※2

鉄道、バス、タクシー、航空運賃



- ✓ 令和5年3月の輸送人員を平成31年3月と比較すると、鉄道は約9割程度、バス、乗用車(10人以下)は約8割程度、国内航空は同程度まで回復
- ✓ 家計調査では、交通費への年間の支出額が2019年と比較して2022年は約7割程度
特に、バス代は約6割程度の水準にとどまる

※1 出典:国土交通省 平成31年3月の輸送人員を100として算出 鉄道、バス、乗用車の2023年3月の輸送人員は速報値

※2 出典:総務省 家計調査 二人以上の世帯 品目分類

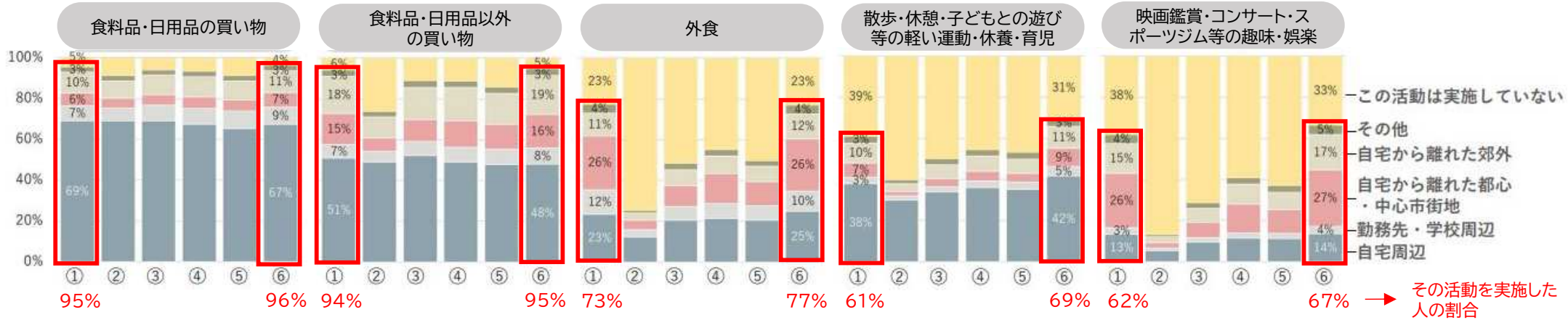
令和5年度第1回伊丹市総合交通会議

(1) 新型コロナウイルス感染症による人流等の影響について

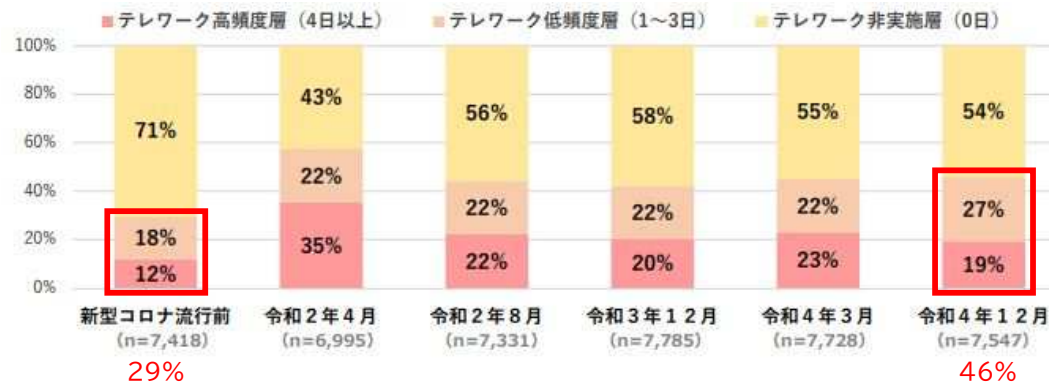
1) 全国の状況

◆ 新型コロナ感染症の影響下における生活行動調査(第三弾)※3

① 活動別の最も頻繁に訪れた場所

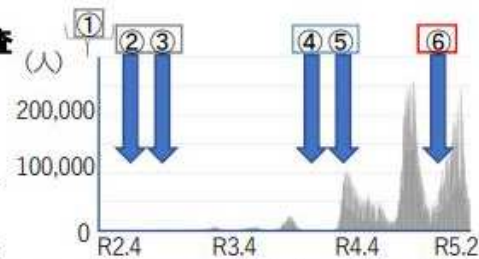


② 就業者に占めるテレワーク実施者割合



○ 調査対象時期について

- : R2年度調査 □: R3年度調査 □: 今回調査
- ① 流行前 : 新型コロナ感染症流行前
- ② 令和2年4月 : 第1回緊急事態宣言発令中
- ③ 令和2年8月 : 第1回緊急事態宣言解除後
- ④ 令和3年12月 : 感染者数が比較的落ち着いた時
- ⑤ 令和4年3月 : オミクロン株流行時
- ⑥ 令和4年12月 : 感染者数が比較的落ち着いた時



- ✓ 活動別の最も頻繁に訪れた場所の割合では、令和4年12月時点では、新型コロナ感染症流行前と同水準
- ✓ 就業者に占めるテレワーク実施者割合は、令和4年12月時点で約46% (コロナ流行前と比較して17%増加)

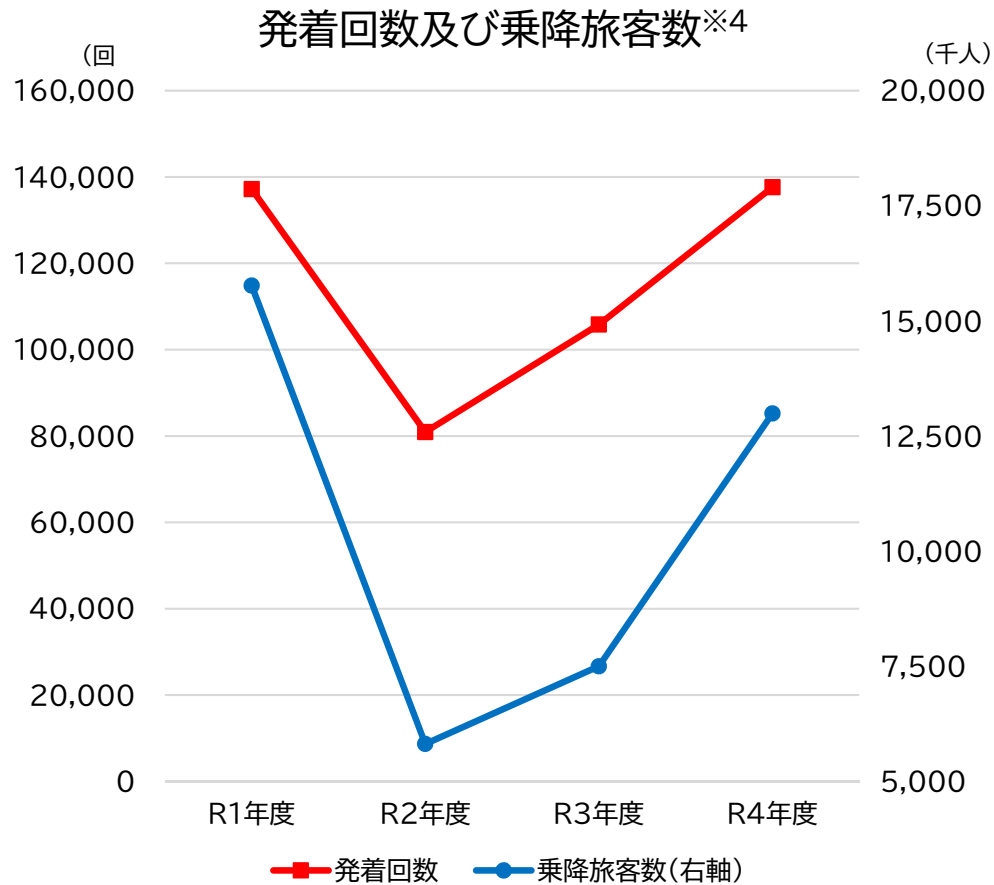
※3 出典:国土交通省 都市局 都市計画課

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議

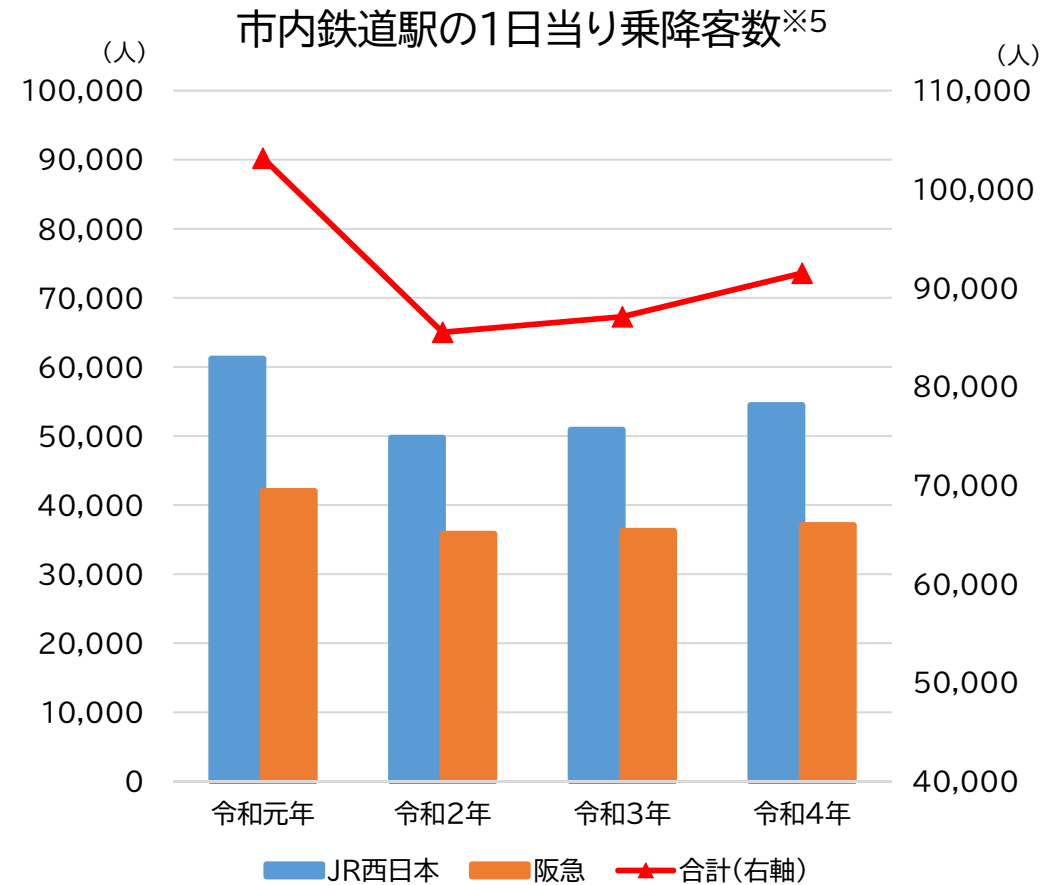
(1) 新型コロナウイルス感染症による人流等の影響について

2)伊丹市内の状況

◆伊丹空港



◆市内鉄道駅



- ✓ 伊丹空港の発着回数は令和元年度と同程度に回復し、乗降旅客数は約8割程度
- ✓ 市内鉄道駅の1日当り乗降客数は、令和元年度と比較して約9割程度

※4 出典:関西エアポートHP 関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港利用状況

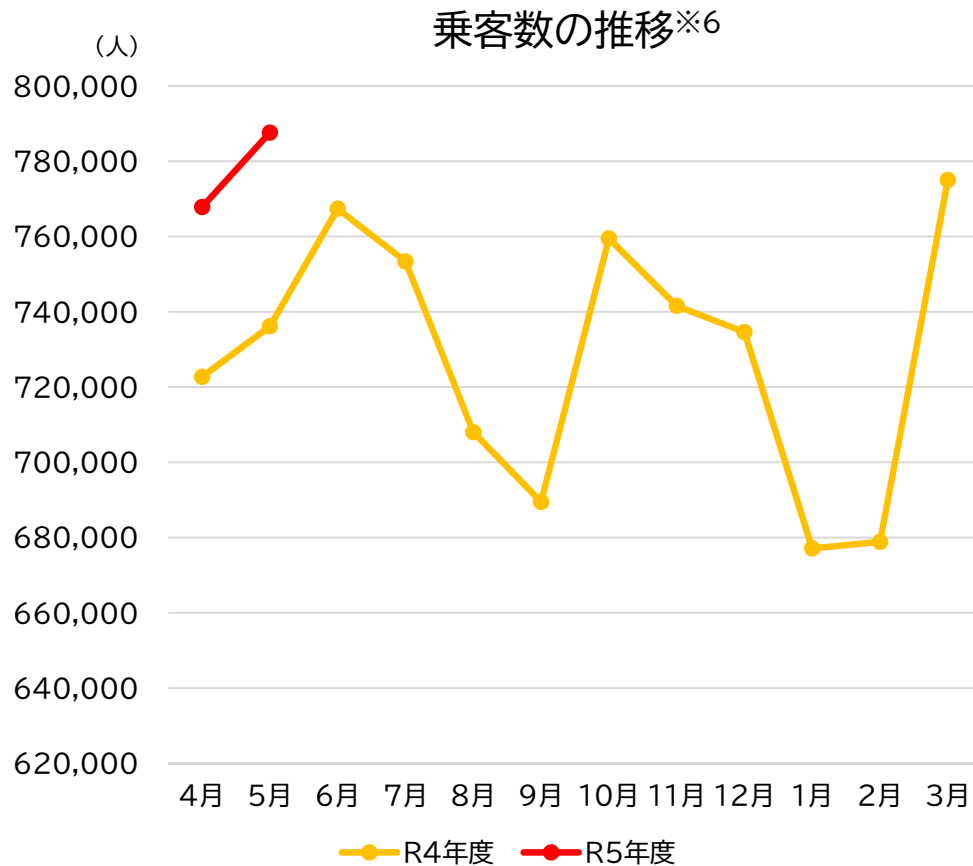
※5 出典:JR西日本、阪急電鉄 提供データ

令和5年度第1回伊丹市総合交通会議

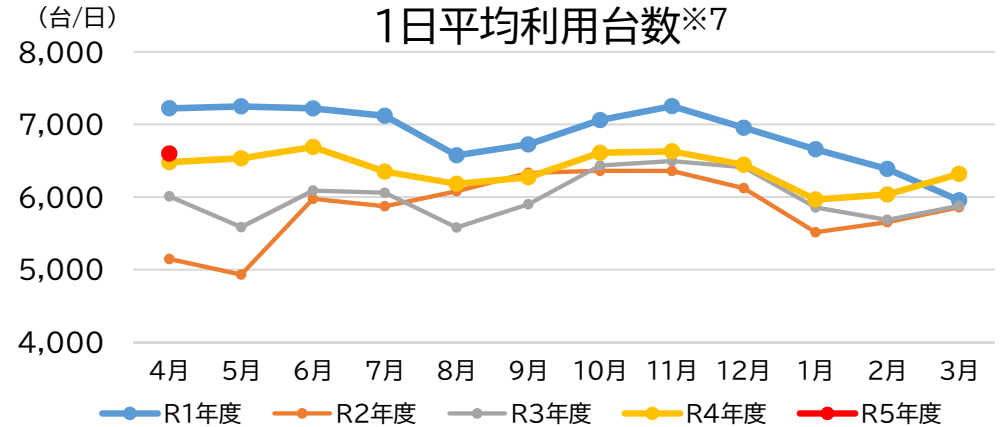
(1) 新型コロナウイルス感染症による人流等の影響について

2)伊丹市内の状況

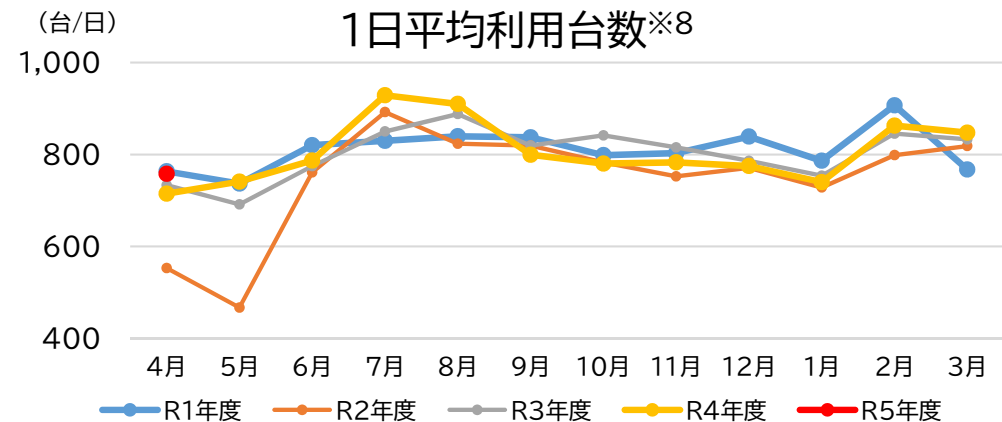
◆伊丹市営バス



◆伊丹市営自転車駐車場



◆伊丹市営自動車駐車場



- ✓ 伊丹市営バスの乗客数は、令和4年4～5月と比較して約7%増加
- ✓ 伊丹市営自転車駐車場の1日平均利用台数は、令和元年度と比較して令和4年度は約9割程度に回復
- ✓ 伊丹市営自動車駐車場の1日平均利用台数は、令和元年度と比較して令和4年度は同程度に回復

※6 出典:伊丹市交通局 いたみバスナビデータ R4.4~
 ※7 出典:伊丹市 自転車駐車場月間報告書

※8 出典:伊丹市 自動車駐車場月間報告書



令和5年度第1回伊丹市総合交通会議

(2)GX、DXの取り組みについて

◆伊丹市交通局 電気バス試験運行を開始



令和5年3月24日、伊丹市定例市議会において「伊丹市ゼロカーボンシティ宣言」※9が可決
2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「移動手段の脱炭素化」をはじめとする、5つの柱に取り組む



令和5年5月15日(月)より、25系統(JR伊丹～阪急伊丹～大阪国際空港)にて試験運行中※10

電気バス2両を導入し

試験運行開始



CO₂(二酸化炭素) 縮減効果の検証

航続距離の検証

最適な充電量と 充電時間の検証

燃料費縮減効果の検証

整備方法・整備費用の検証

※9 ゼロカーボンシティ宣言 自治体として2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明すること。

※10 運行ルートは令和5年7月11日(火)現在 今後、運行ルートが変更になる場合有